

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 ともだっちー		
○保護者評価実施期間	R7年 12月 20日		～ R8年 1月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	R7年 12月 20日		～ R8年 1月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 27日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援に携わる職員一人ひとりの高い意識とチームワークで支援にあたっている。	「子どもたち第一」という考えを共有し、日々支援にあたっています。子どもの発達段階や特性を丁寧に把握し、一人ひとりに最適な支援計画をチームで考え実行しています。保護者の皆さまとの信頼関係を構築し、子どもの成長に関する情報を共有して健やかな成長をサポートしています。	振り返りの時間等をしっかりと確保し、情報共有と改善に努めていきます。研修や定期的な勉強会を通して、専門知識やスキルの更なる向上を図ります。
2	自然体験を通じた成長支援を重視している。	発達の土台作りが大切との考えから療育視点に感覚統合を取り入れ、種まきや収穫・砂遊びなど、様々な活動を通して子どもたちの感覚を刺激して好奇心や探求心を育てています。その中で、その子にあった方法で言語・コミュニケーションや社会性等の大切な力をバランスよく促していきます。	自然を活用したり直接体験したりする多様な活動プログラムを企画し、子供たちの健やかな成長を支援していきます。理学療法士がグループ内を巡回し、発達の土台となる力を専門的な視点からアドバイスをもらって活動へ取り入れていきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の懇談会や家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の機会が少ない。	新年度から定期的に相談会を開催したいと考えています。	保護者の皆さまの就労や、保育園・幼稚園行事と重ならない時期を把握して計画を立てます。
2	非常時等の対応について、保護者への周知・説明が十分でない。	避難訓練等は実施していますが、保護者への周知・説明の機会が少なかった。	必要な情報を適切に発信することを検討し、具体化したいと考えています。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援事業所 ともだっちー

公表日 R8年 2月 27日

利用児童数 13

回収数 12

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11			1	・移転されて広くなり活動もしやすそうに なったと感じました。 ・施設が新しくなったが、まだ見に行ったこ とがないので分かりません。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11			1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	1		4		絵カード等の視覚情報を活用してわかり 易い環境設定に努めています。 玄関や療育室において極力段差を少なく し、トイレと洗面所には踏み台を設定し ています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11			1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	11			1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	11			1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	12				都度、成長に合わせて作成、取り組んで いただいています。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いますか。	10			2		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	11				1	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。	7	1	1	3		併行通園されている方が多いこともあ り、具体的な交流の機会は今年度はあり ませんが、他のこどもが遊ぶ地域の公園 や公共施設での園外活動を取り入れてい ます。
保 護	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	11			1		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています か。	10	1	1			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	11	1			毎回ご報告いただいています。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12				いつも話を聞いて下さってありがとうご ざいます。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12					

者への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	1	2	1	秋祭りは兄弟児へのご配慮もとても感じました、ありがとうございます。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	1		1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7	3		2	連絡帳に活動の様子を書いてくれているのでどんな風にご覧いただき教えるのでありがたい。SNS等ではあげてほしくないが活動中の写真などあれば嬉しいです。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5			7	緊急時を想定した各マニュアル（災害対策や感染症対策など）を策定し、適宜見直しを行っています。保護者様への情報公開方法を検討します。地震や風水害、火災等を想定した避難訓練を法人内の他事業所と合同で定期的に行っています。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	1		5	スケジュールに予定が入っているのは確認しています。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	1		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10			2		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12				とても楽しみにしていて毎回のしく過ごしているように思います。優しい先生ばかりで子供もいつもニコニコで出かけて、ニコニコで帰ってきています。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12				先生方が大好きで楽しく通えています。幼稚園に行きたくない日でも、ともだちには行きたいといつも楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	12				親に対してもいつも気にかけて下さって温かい言葉をかけてくれます。	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援事業所 ともだっちー		公表日	R8年 2月 27日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		学習（発達支援室）と活動（プレイルーム）を分けて環境を整えている。	発達段階や活動によって発達支援室をパーティションで区切ってグループ設定が出来るよう、環境を整えたい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		配置基準より多めの職員を配置している。特性の強い子どもへの個別対応など、必要時は職員の出勤調整を行ったり、他部署から支援員を配置する等、状況に応じた対応を行っている。また、子どもの状況に合わせて職員の配置を変えるよう対応している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		イラスト等の視覚情報を活用して、子ども達にわかり易いよう提示している。机や簡易的なパーティションを用いたり、トイレと洗面所には踏み台を置いたりして、子ども達の身体発達や特性に配慮している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		活動後に清掃や換気を行い、玩具や活動で使用する道具類も消毒を毎回行っている。活動に集中できるように、提示物を極力無くすようにしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		子どもが落ち着かない時や個別に対応が必要な時は、別室で対応するようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		毎日全職員参加のミーティングを行っている。活動や支援内容の振り返りだけでなく、業務改善を念頭において日々の業務にあたるように務めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		事業所評価をホームページに公開している。日頃から連絡帳やSNSやり取りを通じて保護者の意向を把握するよう努め、必要時に業務改善へつなげていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		日々の職員ミーティングなどでも意見交換し易い雰囲気作りに努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	他部署の上長などから評価や改善案のアドバイスをもらい、業務の改善に繋げている。	第三者による外部評価の実施について、引き続き検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		外部研修に参加した職員が講師となり、研修報告（周知・共有）も行っている。	職場内研修を定期的に開催し、職員の資質の向上を図る。また、職員が幅広く外部研修（他療育施設見学を含む）を受講できるように計画する。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		昨年度より児童発達支援ガイドラインに定められた5領域を反映した支援プログラムをホームページにて公開している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
支 援 の 提 供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>			
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		お子さまの状態や特性から個別活動が適切であるとなった場合、座席や職員配置等を工夫して行っている。	個別活動と小集団活動を適宜組み合わせることが適切なお子さまに関しては、支援計画作成段階で具体化するよう努めます。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>			
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>			
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>			
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>			
	28 (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31 (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		<input type="radio"/>		地域の支援センターから研修案内があった場合は極力参加し、質問したり助言を受けたりしています。療育優先となるため研修開催時の職員確保に努めます。
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		<input type="radio"/>		併行通園されている方が多いこともあり、具体的な交流の機会はありませんが、他のこどもが遊ぶ地域の公園や公共施設での園外活動を取り入れています。
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>			
34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		<input type="radio"/>	必要時に情報提供や面談による助言を行っています。	来年度は育児情報交換や研修等、保護者交流の機会を設けたいと考えております。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保 護 者 へ の 説 明 等	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		今年度はお祭り等の家族参加のイベントを実施し、きょうだい同士の交流の機会を設けました。 来年度は育児情報交換や研修等、保護者交流の機会を設けたいと考えております。
	40 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		活動概要や行事予定を定期的にLineにて発信しています。通信発行等は、都度必要時に行っています。	今年度中にはSNS（Instagram等）による情報発信を始める予定です。
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。	○		地域住民の方を行事に招待するには至っていませんが、地域の方々とは常に会話したり飼っていらっしやる犬と触れ合う等の交流はあります。	地域イベントに参加したり事業所でお祭り等のイベントを開催する際にはご招待するなど、地域との関わりをより深めたいと考えています。	
非 常 時 等 の 対 応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			
	48 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			